



# 名瀬小だより

## 1月号



学校教育目標  
自分・友だち・まちがすき  
自ら学び 未来へとかがやく名瀬っ子

令和2年12月25日  
横浜市立名瀬小学校  
校長 中嶋 孝宏



## 希望の星

校長 中嶋 孝宏

令和2年も幕を閉じようとしています。今年は全てが未知で初めての予測がつかない年でした。新年度開始直後からの自宅学習の時期を越え、分散登校を経て7月より通常授業を開始しました。短い夏休みとなり、感染防止の制限の中、学校生活、運動会や修学旅行等すべてが初めての経験でしたが、子どもたちは本当によく取り組みました。できないことに文句を言うのではなく、今できることに集中するという姿勢が見られました。

地域の方からは、消毒液や手洗い石鹸などの寄付、PTA 役員や保護者の皆様による、定期的な消毒作業など、具体的な支援も多くいただき、皆様のご理解とご協力のもと年の瀬を迎えることができました。本当にありがとうございます。

12月に「だれもが居心地の良い学校にしよう」というテーマで子どもたちによる人権会議が行われました。人権委員会のメンバーが、人との接し方や声のかけ方などのシーンを実演したビデオを製作し、そのビデオを見ながら各クラスで話し合いが行われました。「普段あまり話さない人と意識して話す」「ありがとうと自分の気持ちを伝える」など具体的な意見がだされました。「相手を大事にする」ことを考える子どもたちに成長を感じました。現在、運営委員による朝のあいさつ運動やペア学年によるあいさつ活動が実施されています。これからの子どもたちの日々の行動と継続を見守っていきたいと思います。

令和3年、新たな年の始まりです。先が見えない状況は続きますが、だからこそ新たな気持ちで自分を信じ、自分がやるべきことに集中する年としたいものです。人は、どのような状況でも希望を見出すことができます。コロナの影響で通常のことのできないこの状況だからこそ、今まであたりまえと思っていたことにも感謝の気持ちをもてたり、忙しい毎日に追われ、気づかなかったことやものに気づいたり、いつでもどこでも人と会うことができないから、ちょっと会うことができただけでも喜びを感じたりすることができます。本状況下においても、心豊かに生活することができます。

現在、世の中は本当に厳しい状況です。これからも現実を受け止め、日々取り組んでいかなければいけません。しかし、これまで誰も経験のしたことのない今回の事態を通し、皆で考え、知恵を出し合い、生活してきた「経験」が私たちにはあります。皆で力を合わせ、令和3年を「希望の年」としていきます。来年も地域やご家庭の皆様と連携・協働して「自分を大切に」「相手を大切に」できる名瀬の子どもたちを育てていきたいと考えております。職員一同力を合わせて取り組んでいきますので引き続きご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

皆様にとっても、新年がより良い年となりますよう心よりお祈り申し上げます。よいお年をお迎えください。

